

水は命・河童は心

## かっぱ新聞

発行所

河童連邦共和国

〒113-0027

東京都文京区千駄木3-28-7-901

電話03(3828)3054

郵便番号00140-8-12901

©河童連邦共和国2005年

## 河童サミットの運営について

大統領 斉藤 哲清



あけましておめでと  
うございます。新春に  
あたり国民の皆様のご  
多幸をお祈り申し上げ  
ます。

昨年は2020年の  
オリンピック・パリリ  
ンピックが東京開催と  
決まりました。これが

ら明るい経済と、未来  
への夢が期待されそう  
です。さて、河童連邦  
共和国が行う一大イベ  
ントの河童サミットに  
ついてですが、お陰様  
で昨年の日本海サミッ  
トで第26回と回を重ね  
てまいりました。年を  
経るごとに盛会となっ  
て多くの参加者に喜ん  
で頂きました。しかし、  
昨年の運営委員会では  
従来への運営に対しての  
反省点や改善意見が出

されました。①マンネ  
リ化していないか②情  
報伝達が不十分で徹底  
していない③河童サミ  
ットと総会の同一会  
場・同時開催は好まし  
くないなどの問題点で  
す。この際、河童サミ  
ットの検討と同時に現  
状を把握したうえで  
で国民(会員)の構成  
内容はじめ事業形態全  
般を見直すことといた  
しました。

近頃は入会者が少な  
くなり会員の高齢化が  
進み、退会者の方が多  
く会員の減少傾向が続  
いております。こうし  
た現状では財政見通し  
も厳しいことから今後  
の事業運営の在り方を  
修正する必要性が提示  
され9月10月11日と運  
営委員会では会議を重  
ねた末、次の通り議決  
しました。

(1)

総会を河童サミット  
と分離して別途に開  
催する。

開催は河童の日(6  
月第2日曜日)とし  
会場は原則として東  
京とする。

(2)

河童サミットは河童  
交流会を主体とした  
内容で呼称(名称)  
は「河童サミット全  
国交流会」とし開催  
日は開催地の諸条件  
を勘案して決定す  
る。

(3)

河童サミット全国交  
流会の開催地は全国  
かつば村の誘致立候  
補によるものとし、  
ない場合には運営委  
員会が開催地を選定  
し決定する。

(4)

河童サミット・会議

## 第27回・河童サミット全国交流会 in 静岡

つなごう伝統つくろう河童文化

開催：平成26年11月16日(日)

開場：17:30 開会：18:00~

会場：静岡県焼津市

主催 河童連邦共和国

等にかかる経費を極  
力抑えて簡素化する。  
河童サミットの参加  
費を低減する。

(5)

会員・役員の高齢化  
に対応してスリム化  
した事業内容とする。

(6)

かっぱ新聞の年間6回発行の回数を減らす。

本年度の河童サミット全国交流会開催内容につきましては、事務局よりかっぱ新聞で改めてお知らせいたします。

河童連邦共和国はしっかりと各かっぱ村の運営基盤と国民一人一人の夢とロマンのある河童心により成り立っています。河童の集う楽しい環境には明るい活力が生まれまします。河童は長寿です。日頃より国民の皆様のご協力には感謝いたしております。こうした過渡的な現実にご理解をいただき、これからもより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国の河童から

## 新春特集

シリーズ

## かっぱと私 (91)

今年だから河童駒引き

大統領 田辺 達也



馬と河童のつき合いは石器時代に中央アジアで始まったようです。中国では世紀前、漢の武帝が駿馬欲しさに、西域の胡国に美姫を貢いだ逸話が伝えられ、日本では飛鳥時代、「馬ならば日向（ひむか、宮崎県）の駒」の記録が残っているようです。火野葦平や佐藤新石な

ら、胡の国を出発した河童と馬の群れは、胡瓜や葡萄酒をお土産に、中国経由、呉越海人の船便で日本にやって来た、になります。

ときに、六七〇年前まで農耕や運送の主役は牛馬中心、いわゆる人馬一体の暮らしでした。しかし次第にトラクターやトラックにとって代わられ、今では精々、秋祭りの花馬か遠野の「曲がり屋」に、かつての姿をしのぶに過ぎません。

戦中戦後の少年時代、私はイ草と畳表で有名な八代の干拓地で過

し、農耕馬の世話をして育ったので、河童が馬を川に引き込む「河童駒引き」をストリートに受け入れた世代です。

馬は貴重な労働力として、人並みか、どうかするとそれ以上に大事にされました。母屋と厩（馬屋）がカギの建家は八代にもあり、集落の用水路には「馬入れ」の石堤がありました。農作業が終わると、馬入川で水を飲ませて休ませ、わらのクワシで汚れを洗い落とし、たてかみを揃えて帰ったのです。

馬入川では何かの気配に怯えて馬が突然暴れ出す不思議がよく起こりました。昭和十八年（小学五年生）の夏、同級生が手綱を振り払われ、蹴られて死にました。アジア・太平洋

戦争のさ中、働き手は戦地へとられ、女子供が食料生産を担っていました。

馬が何に怯えたのか分らないので河童の仕業になったのです。馬は村中を暴走したあと自分の小屋にちゃんと納まっていたのも不思議でした。

ここで和田寛さん（河童文 庫理事長）の大作「河童伝承大事典」が一番とめくって見たら、全国くまなく、三百を超える「駒引き」が採話されていました。河童民謡ご三家に入れてよいくらいです。

でもこの数は代表例に過ぎないのです。世界の川を歩いた作家の雅名誠さんは「日本にはおよそ三万六千の川がある」と言っています。私たちの祖先が長い間に紡いだ川と河童

と馬の物語は、ひとつの川に最低ひとつとして三万六千話あるはずだ、と言っても、言い過ぎではないように思います。

すでに10年

河童大学かっぱ村

村長 佐々木 篤

河童大学かっぱ村が発足してから、足掛け9年となりました。河童大学は、その一年前から開校していたので、すでに10年になりました。いったい、河童界にとつて、どれだけ貢献できたか、考えると、頭が痛くなるので、考えないことにします。

さて今年も、二つ目標を立てています。

第一は、昨年に始めた、全国を対象に、記録されている(本その他に掲載されている)河童伝承百編の収集と、



その分析を終わらせたいと思っています。

第二には、夏頃を目撃したいと考えています。イベントと言っても、あくまでもネット世界の中でのイベントですが、河童大学の主催として、大学らしいアカデミックな内容と想っています。ただ、そこは河童ですので、洒落の心は残したいと考えています。さて、どんな内容になるのか、ご期待ください。

それでは、皆様のご健康とご多幸を記念し、

新年のご挨拶とさせていただきます。

「水は命・河童は心」

江戸川かっぱ村

大橋 保彦

新年明けましておめでとございます。

「水は命・河童は心」

この命の水は、いつの頃から存在していたのでしょうか。私が50年前前に教わった頃と違い、最新の化学では、地球誕生から早い時期に、隕石や彗星によって水が運ばれたとの事。と、いう事は水は地球外からやって来たとなり、生命も宇宙からやって来たといつても過言ではありませ

ん。事実、隕石から生命の痕跡があったなどという説もあります。

「水」も「河童」も宇宙的スケールになって

きました。

毎日ゴクゴクと飲むペットボトルの飲料水も、熱々のラーメンスープも、宇宙から来た彗星の水だと思おうと思慮です。

生物は何億年もかけて進化しつづけていますが「水」は基本的に、何億年たつても「水」なんです。

命を燃やし続ける為には、水を飲み続けるなければなりません。体を通った水が循環して、また地球の何かの生物の中に入って生命を繋いでいくとは……。「水は命」まさに、常に甦る死なない命です。

この水達を汚さないように「河童の心」を大切にしたいものです。



明るく元気な河童

おいてけ堀カッパ村

村長 山本 ヤエ子

皆様、新年おめでとございます。

おいてけ堀カッパ村は、お陰さまで、今年開村22周年になります。昨年は体調不良のため、私は元気のない河童でした。村の春秋行事も「三丁目の夕日」の撮影会&懇親会のみでした。しかし、相原さん代表の関山河童はいつも元気に活動しています。粘土細工やミカン狩りなど、自然を満喫しながら楽しんでいきます。関山河童堂の河童さんたちにも是非会いに行ってください。



今年はずん。陰陽では陽。今年は明るく元気な河童を目指します。本年もよろしくお願ひいたします。

ベガサスに乗って空高く

大統領府

大老 吉田 伸行

河童の皆様、明けましておめでとうございます。今年はずん、どんな展開になるか、楽しみにしています。

30年ぐらゐ前に会社のマスコットを決めることになり一般に募集しました。私は自信を持って空を飛ぶベガサスで応募しました。当選したのが、今の相澤社長が描いた河童でした。何で河童なの？いささか不満でしたが企画宣伝の責任者だったのでカタログ、製品、宣伝、などすべてに使いました。平面だけで



飽き足らず、ぬいぐるみ、根付け、パッチ、ミズ太郎ゆるきゃらなど作り宣伝に大いに利用しました。河童の方々の目につき、仲間入りしました。

上野精養軒での第3回サミットから参加し、副大統領になり20年が過ぎたのを契機に譲りました。新しい村の誕生には10数ヵ村以上参加し、消滅にも付き合いました。

30年前は河童の話に耳を傾け参加するいろんなグルーブがあり、村をどんどん立ち上げ

られました。河童の高齢化が進み、これからの運営は難しさが付きます。

発展的解消に向かうのか、人事の刷新に工夫するのか、考えねばならない時に来ていると思います。

河童村は「村長の指導力と考え方」が大きく左右していて、村長に何かあると消滅してしまう事が大きいのでいわば個人企業なので。会社形態にかえる

と代替わりが順調にゆき発展してゆく可能性をもっています。分家も良い選択です。分家も良い方策で、やる気のある若い村長の出現があれば新しいメンバーが集まり人口増加が期待されます。

去年には3匹の河童に入って貰いましたが、年齢的に近く仲良しグ

ループで行くのが良い関係です。新しく一家を開いてゆくにはやはり若いグルーブの奮起と活躍が無ければ無理の様に、その年代との接触と引き込みが望まれます。今年はずん、同じ年代との会話を多く持つてPRにつとめ、ベガサスに乗ってゆけるようにしたいと思っています。

河童は妖怪・大蛇も妖怪？

大垣河童ンテイ

原 真知子

あけましておめでとうございます。

昨年は「大蛇に追われた虚空蔵さん」大垣市赤坂町民話を劇にして、大垣市老人演芸大会に出て1位。次の大舞台は岐阜県大会でもや1位。

今年はずん、国際会議場で

お披露目会に出る予定です。

わが家の西にそびえる金生山、そこに日本三大虚空蔵がまつられている。ここの坊さんが若い時、伊勢に修行に行き、とある女に手を出したのが始まりです。虚空蔵さんが帰路に向かう途中、草むらに横たわる大蛇に化けた伊勢の女におしっこをかけてしまう。

怒った大蛇と虚空蔵さんのおいかげっこ。会場に舞台に逃げるわ迫うわで大ききわぎの劇でした。私の役は男の坊さん。監督さんが女の大蛇です。お客さんは笑うわ〜演じてる私達もおもしろくて……。

こんな私です。今年も河童さんよろしくお願ひします。

# 河童百話

(各地の伝承シリーズ)

河童大学がっぱ村佐々木篤村長提供による、河童の民話シリーズです。民話は民衆の生活の中から生まれ、民衆によって伝承された話です。大きく分類すると昔話、伝説、世間話に分かれるようです。これからのストーリーは事実であるかもしれないし、信じられないことかも知れません。

## 小倉川と河童

その12

栃木県上都賀郡

小倉川は、むかしは、清瀬村にさしかかってからの下流を清瀬川と呼んでいました。

ある日、小倉主膳という豪傑が、馬をひいてこの川の淵を通りかかると、なにかにおびえたように馬がいなき、あとづざりをしました。よく見ると、淵のほとりに河童がいて、じっとにらみつけています。

「私も力自慢、何なくとりおさえてしまいいました。殺してしまおうとも思っていたのですが、ふびんなので許してやることにしました。」

すると河童は、

「私は、馬を見るとおそいかりたくなるのです。このへんを通るときには、「小倉、小倉」と、あなたの名前を言うてください。そうすれば、悪いくせがおこらないでしょう。」

それを聞いた人々が、「小倉、小倉」といながら、ここを通るようになったので、この淵から下を、

河童大学 佐々木 篤

小倉川というのです。

〔未来社版「日本の昔話」より〕

## 河童の手

その13

栃木県佐野市

小中(こなか)村を流れている旗川に赤淵と

いうところがあり、年をへた河童がすんでいました。それが、このころ畑を荒らしまわって困ります。

村人は、村一番の力持ち馬喰(ばくろう)の五郎平に河童をとらえてこらしめる役をたのみました。五郎平は、畑につくった番小屋に寝起きするようになりました。

幾日かたつたある夜明けに、すいか畑にあやしい影がちらりと見えました。右手に鎌を、左手はこぶしをかため、河童にとびかかった五郎平が、むちゅうになつてたたかい、ふと気がつくると、河童は片手を斬りとられ逃げ帰ってしまっていました。

五郎平は、河童の手を、光照院の見籠(けんりゅう)う(和尚)に届けました。その晩、眠っていた和尚さんはふと目をさしました。見るとそ

こには、しよんほりとやせた老人がすわっていました。老人は、「私の知っている人が片手を失ったのですが、こちらにあるとのこと、それをお願いしたいのです。」

見ると、老人の片袖がだらりとたれさがっています。和尚さんは、「河童かは知らぬが、百姓たちの身にもなつてやれよ。」

片手をわたしてやりました。その後、このあたりの畑は河童に荒らされることはなくなりました。

〔未来社版「日本の昔話」より〕

解説…後日談があります。和尚さんが、奈良の長谷寺に入門するために旅をしたとき、大水があり、川を渡るができなくて困っていると、助けた河童が現れ、対岸に渡してくれたとの話が伝わっています。

←6ページへ続く



→5ページからの続き

### 河童のくれた壺

その14

千葉県市原郡

むかし、むかし、源左衛門というよく働く百姓が、ある暑い日に養老川の近くのキユウリ畑をうなっていました。すると、川の中から、七つか八つくらいの、子供が出てきて言いました。

「おれは河童でキユウリが大好物だからよ、くれればおれに宝の壺をやっぞ」

うるさくつきまとわれ、仕方がないのでキユウリを投げてやると、河童はそのまま姿を消しました。

家に帰った源左衛門が、翌朝庭に出て見ると、水鳥に似た足跡がたくさんあり、馬小屋の方につづいていました。足跡をたどって行くと、馬小屋の桶が伏せてあり、起こして見たところ、小さな黄色い壺が入っていました。

「これは、河童が約束した宝の壺にちげえねえ」

壺にはお金が二枚入っていました。お金が必要になったとき、一枚使ったのですが、後で見ると、もともと同じに二枚入っています。

その後も、一枚使うと、必ず二枚になっていました。

貧乏だった源左衛門は、お金持ちになりました。ところが、何代か後の人に、金遣いの

荒い人がおりました。

ある日、壺の中のお金を、二枚とも使ってしまったところ、それから、二度と元の通りにお金は出なかつたとのことです。

（未来荘版「日本の昔話」より）

解説…伝承ではなく、昔話です。しっかりと、罫敷が入っています。

壺が、馬小屋の伏せた桶に入っているなど、「河童釣り」に、なんとなく似ています。

ピークハントに比べ、低山のトレッキングにはまた違った趣がある。少し登り始めると汗ばんでくる。沢に沿って行くと白い二輪草の群落が岸部に広がり、水際に映えて素敵なお景を見せてくれる。

ふと気配を感じて振り返ると、カワウソのような生き物が向こう岸に向かって泳いで行

く

く

く

く

く

く

く

く

く



軽井沢にて  
事務局長 田辺 宏守

やつと残雪が消えたばかりの軽井沢の早

朝、初夏を思わせる日差しの中、あたり一面の新緑がまぶしい。森の奥から心地よいせせらぎの音と、小鳥の囀りが聞こえてくる。

思いついでに山行き、解放感が何とも嬉しい。時おり、樹林を通して浅間山を望みな

がら、のんびりと山道を辿る。

この境界は熊の生息領域で一人歩きは心細いが、青空のもと爽快な浮き立つ気持ちは、大自然に融和して日頃の憂さを忘れさせてくれる。

標高の高さを求める

く



しばらくして明るく開けたところに出る。上流の先は大きく右に曲がり、前方対岸には岩壁から落ちる幾筋かの細い滝があり、その辺は淀んだ淵となり、渓谷は澄んだ深みを増し清冽な表情を見せている。静寂の中に水音を聞きながら廻行する。

ふと気配を感じて振り返ると、カワウソのような生き物が向こう岸に向かって泳いで行

く

く

く

く

く

く

く

く

く。いや、流れの途中にある平らな岩盤が目当てらしい。突然のできごとに足は釘付けになり、しゃがみ込み笹藪を通して目を凝らす。遊泳している正体が気になる。

一瞬姿が水中に消え、次に見えたのは岩の上に飛び乗り横たわった全身像で、頭は灰色の皿状、背中には確かに甲羅がある。

これは間違いなく河童である。

するとまた新たな一つが岩盤に上つてきた。寄り添うように並んで横になる。水にぬれた二つの甲羅が太陽の光に輝いてまぶしい。夫婦、それとも兄弟なのか不明だが、亀のように甲羅干しをしながら昼寝でもするのだろうか。静かに観察しよう。

亀は人類が誕生する前から地球上に生活していて、両生類から分化した爬虫類の仲間である。亀の甲羅干しは太陽光を浴びることに

より紫外線の持つ照射作用で寄生虫から身を守り、皮膚を乾燥させ殺菌する。さらに皮膚でビタミンDへと変換させたカルシウムを取り込むなどの目的があつて、生命維持のためには不可欠な行動のようだ。

河童も両生類から進化したのなら甲羅干しも同じ理由だろう。この状態をカメラに取めたいが、遠くて逆光の為に携帯では明瞭な画像は期待できない。それに動く気付かれて姿を消すかもしれない。じっと待てば、またさらに別の河童が現れるかもしれない。

それとも相撲の相手になれと云われたら、2対1では勝ち目はなさそうだ。

水面を爽やかな風が過ぎていく。ペアーの河童の動く様子は全くなく仲間が増える気配もない。

どの位経つたろうか。あたりから人声が出てきた。若い女性ハイカーの二人連れである。

よく山では知らない人でも、行き違ふとき「こんにちは」の声を掛け合う。

変わった男がいるので「一人ですか」と聞いてくるが、河童のいたことを話すにはためらいがあり、ただ笑顔を返す。

どうやら木陰になった河原の岩の上でうたた寝をしていたようだ。河童の寝転んで居

た岩盤上は乾いていて、何も無い。

あんなリアルな夢は初めてである。急ぐことはない。もうしばらく居残って正夢を期待すれば、また河童に出会える気がする。

若者の姿はもう見えない。

のどかな樹林を通じた青空に小浅間山がそびえている。足元のキラキラ光る冷たい溪流に笹舟を浮かべると、ゆっくりと遠ざかって行った。



河童  
かっぱ  
カッパ  
村だより・国だより

◆大穂領府・事務局から  
①平成26年・第27回・河童サミット

第27回・河童サミットは運営委員会の議決により、静岡県焼津市の開催となりました。

今回は従来の形態・内容をスリム化して行きます。

今までは前半では河童神事・総会・本会議・記念講演・表彰など、後半が河童交流懇親会で、長時間にわたりました。

それを、前半を切り離して、交流懇親会を主体としましたので、以前の河童サミットと比べて圧縮された内容です。十分な相互交流

ができ、意義ある集いとなりまますよう計画しております。

そして翌日の河童探訪ツアーは、世界文化遺産となった富士山のベストビューポイントを巡り、併せて世界一のギネス認証龍ちゃん河童館も見学します。

②平成26年度総会

従来、総会は河童サミットと同時に開催されておりましたが、今年は6月9日(日)河童の日に行います。

会場は東京都内ですが、改めてお知らせします。総会終了後に交流懇親会を予定しております。

③合羽屋喜八200回忌法要

平成26年1月26日(日)合羽屋喜八の菩提寺である曹源寺(かっぱ)

ば寺)で200回忌が行われ、河童連邦共和国からは代表として斎藤哲清大統領はじめ、有志が参列されます。

かっぱ山柳コーナー

河童好物

うま煮と馬サシ

旨い酒

逆立ちの

馬上の河童

パッカパッカ

(スプリング・マン)



川柳コーナーでは皆様の作品を募集中です。

水辺

毎年、河童サミットを楽しみにされている方が多いと思います。一年に一度の河童仲間との再会、そしてはじめて訪れる未知の開催地、あるいは河童神社や河童シンボジウムなどへの期待感があると思います。ところが今年開催地が簡単に決まらず、発表が遅れました。しかも1月16日(日)開催となりましたので、大分先になります。何よりも運営形態が変わります。全国のかっぱ村から集まって「河童交流懇親会」を主体として行ないます。単なる親睦会ではなく意義ある楽しい交流をし、参加者皆さんの意識で会を盛り上げるはずで

今年、新しく生まれ変わる「河童サミット全国交流会in静岡」には是非お出かけください。今回は静岡かっぱ村が誘致されたのですが、静岡県は山と海に恵まれ、景勝地や歴史的名所旧跡が多く、いたるところが観光地で、物産品も名物が目につきます。昨年、日本一の富士山が世界文化遺産に認定され、改めて注目されましたが、河童の世界一と言えはギネスブックが認証した龍ちゃんの河童館、これも静岡県焼津市です。交流懇親会翌日の河童探訪バスツアーではギネス河童館の見学はもちろん、三保の松原や富士山のベストビューポイントを巡るコースを予定しております。お天気次第ですが、是非とも富士山の絶景を期待したいものです。

国民大募集

河童に関すること

日本一の河童集団 河童連邦共和国

TEL/FAX: 03-3828-3054

河童なんでも相談室



本紙掲載記事・図等の無断転載・転写を禁じます。